

発刊にあたって

財団法人富山県健康スポーツ財団

専務理事(スポーツ担当)

富山県総合体育センター

センター長 畠 隆 夫

昨年8月に第29回オリンピック競技大会(2008/北京)が開催され、富山県出身の山崎 勇喜選手(競歩50km、20km)、谷井 孝行選手(競歩50km、20km)、富山県所属の北本 忍選手(カヌーカヤックシングル500m、カヤックペア500m、カヤックフォア500m)が出場し、山崎選手が競歩で初めて7位入賞、北本選手もカヤックペア500m5位、カヤックフォア500m6位入賞し大活躍しました。世界レベルの大会に富山県出身、所属の選手が頑張る姿に富山県民も元気をもらったことでしょう。

現在、スポーツ医・科学的トレーニング推進業の特別強化競技として野球、駅伝を指定しています。今年度は富山商業高等学校野球部が選抜高校野球大会に出場することとなり、そのレギュラーの約半数が中学校3年生時に強化指定選手として強化していた選手たちです。また、駅伝では男子、女子高校駅伝、全国都道府県駅伝で、個人ですが全国トップ10以内に入る活躍がみられ、スキー・アルペン競技(女子)においても、インターハイ、国体と着実に表彰台に上げられるような成績を上げています。これらは継続的なサポートを続けてきた大きな成果ではないかと思っています。

本誌では今年度のサポート内容について掲載いたしましたので、本県の指導者や選手の皆様にご一読いただき、競技力向上のためにお役立ていただけることを期待し、発刊のことばといたします。